

48 あなたならどうする？ 災害カードゲーム「クロスロード」

災害時のことをさまざまな立場に立って想定して考えるカードゲーム「クロスロード」のやり方と、使用する道具類の説明を行った後、実際にみんなでクロスロードを行ってみます。



学習の目標
災害時に行うべき対応を自らの問題として考えます。また、他の人のさまざまな意見や価値観をみんなで共有します。



時間軸

実施内容

対象人数★5～40人（1グループ5～6人）

1 事前準備

- ① **対象人数とグループ数** / 1グループ5人を基本とします。グループの人数は多少の増減は問題ないですが、多数派・少数派を確認するため、奇数人数でグループをつくりま。グループ数は会場の大きさと人数に応じて何グループでも実施可能です。
- ② **会場準備** / グループで話し合いのできる机と椅子が必要になります。グループ同士は、それぞれの話し合いの声が邪魔にならない程度に離れていることが望ましいです。なお、事前にグループ分けをしておきます。

クロスロードとは 英語で「岐路」、「分かれ道」を意味しています。災害が起こる前の備え、また起こってからの対応には、多くのジレンマを伴う重要な決断が必要になります。このクロスロードは、トランプ大のカードを使用して、ゲーム感覚で災害への備えや災害後に起こる様々な問題を自らの問題として考えることができ、かつ、自分とは異なる意見や価値観の存在に気づくことができるものです。

2 クロスロードの実施

→資料48-1

1 ルールの説明（10分）

説明文【例】

ゲームは問題カードとイエスカード・ノーカード各1枚ずつのカードを使って行います。プレイヤーは1人ずつ順番に問題カードを読み上げます。カードが読み上げられるごとに、プレイヤーは全員読み上げられたカードの内容について、自分の意見がイエスか、ノーかを考えます。自分の意見がイエスならイエスカードを、ノーならノーカードを裏に向けて、自分の机の前に置きます。グループの全員がカードを置いたら、一斉にカードを表に向けて。表向きになったカードを確認して、多数派のプレイヤーが得点を表す青い座布団を手に入れることができます。問題カードをすべて読み終えた時点で、最も多くの座布団を持っている人が「勝ち」となります。

補足：座布団の使い方について

- 多数派になったら青座布団が1枚もらえます。青座布団は1枚1ポイントです。
- グループの中でイエスカードもしくはノーカードを出したのが「1人だけ」の場合には、その人が金座布団をもらえます。この場合、他の人はたとえ多数派であっても座布団はもらえません。
- 青座布団と金座布団は同じ1ポイントです。

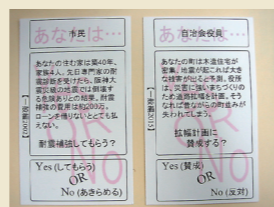
2 ゲームの実施（50分）

説明文【例】

では、これから実際にクロスロードを行ってみたいと思いますが、まずは各グループで1度ゆっくり練習をしてみましょう。最初に問題を読み上げる人を決めて、問題を読み上げる係に決まった人は、好きな問題を選び、グループ全員に問題が聞こえるように大きな声で読み上げてください。☞ **問題の読み上げ**
[全グループが問題を読み上げた後] では、各グループで出題された問題に対して、自分の意見がイエスなら「イエスカード」を、ノーなら「ノーカード」を選び、自分の机の前に裏向きにして出してください。☞ **カードの選択**
[グループの全員がカードを出し終えた後] では、全員で一斉にカードを表にします。いいですか、一斉に表にしてください。☞ **イエス・ノー、どちらが多数派かを確認**



イエスかノーか。正解はない



自分ならどうする？みんなは？

時間軸

実施内容

では、今の問題でなぜ自分がイエスを出したのか、またはノーを出したのか、意見を出し合って、グループ全員で他の人がどのような判断をしたのか意見交換をしてください。☞ **意見交換**

[グループの全員の意見交換が終わった後] 以上が、一連の流れになります。では、以上のような要領で、残りの問題を各グループで進めてください。なお、各問題が終了した後は、必ず全員がなぜ自分がイエスorノーのカードを出したのか、順番にその理由について話し合いをし、他の人の意見を聞くようにしてください。☞ **問題カードすべてを実施**



座布団をあしらったカード

3 まとめ・振り返り（30分）

[問題が終了した後] 座布団の数を数え、誰が一番多かったか、誰が一番少なかったかを確認してください。そして、なぜそのような結果になったのかをみんなで議論してください。また、金座布団を持っている人がいるかどうか、またいる場合には、なぜ金の座布団がとれたのかを各グループで話し合ってください。

また、問題の中で、これはすごく迷ったという問題はなかったか、これはすぐに答えが決まったといった問題がなかったかなどについて、グループのみんなで話し合ってください。

指導ポイント

クロスロードの問題に正解はありません。したがって、座布団の多少によるゲームの勝負が大切なのではありません。むしろ、各問題に対して自分がなぜイエスもしくはノーを選んだのか、また他の人はどうしてイエスもしくはノーを選んだのかを知り、いろいろな考え方があることを知ってもらうことが大切です。また、物事の捉え方により、いろいろな価値観があることもあわせて知ってもらえるように議論をふくらませてあげることが大切です。

自主防災組織の関わり方

子どもと一緒に考えてみてください。

準備するもの（目安）

準備品	数	備考
☐資料「防災ゲーム「クロスロード」とは？」	各グループに1セット	資料48-1
☐問題カード	各グループに1セット	
☐イエスカード、ノーカード	各人にそれぞれ1枚	プレイヤーの人数分準備
☐座布団カード（青座布団）	プレイヤーの数×10枚程度	グループの机の中央に山にしておきます
☐座布団カード（金座布団）	適宜（プレイヤーの人数と同程度）	グループの机の中央に山にしておきます

※クロスロードは、京都大学生協（<http://www.s-coop.net/>、または、<http://www.s-coop.net/rune/bousai/crossroad.html>）で販売しています。

※参考資料も参照してください。

家庭への持ち帰り

同じ問題を家に持ち帰り、家族の人と話し合いをしてください。

ひと工夫

自分の見解でイエスかノーを決めるだけでなく、他人の意見を推測して、座布団をとるためにあえて多数派になりそうなカードを出すのも一つの手です。このような考えを巡らせることにより、他の人の考えを広くとらえることができるようになるとともに、自分の考えについても洞察を深めるようになります。